

坂東三十三観音霊場 第二番札所 海雲山 岩殿寺

本尊 十一面観世音菩薩

令和八年午歳
特別結縁

御開帳

自令和八年 九月十八日(金)開扉
至令和八年十一月十八日(水)閉扉

中回向 特別祈願法要 十月十八日(日)

拝観時間 午前九時〜午後四時

拝観無料(但、入山志納金百円を喜捨願います)



＜特別結縁御開帳＞
本尊 十一面観音立像
江戸時代初期

＜同時拝観＞
観音堂 十一面観音立像
室町時代

＜同時拝観＞
前立本尊 十一面観音立像
平成26年

御開帳期間中の主な行持

※ 何れの行持も午後2時開始です。また、すべての行持は事前のご予約が必要です。
詳しくは裏面記載の岩殿寺までお問い合わせください。 TEL:046-871-2268

【9月】

18日(金) 御開帳開始(9時〜)
秋彼岸法要・
本尊開扉観音会(開扉式)
19日(土) 写経会(記念行持)
26日(土) 写経会(記念行持)

【10月】

3日(土) 坐禅会
5日(月) 梅花流詠讃歌稽古
14日(水) 写経会(記念行持)
18日(日) 中回向 特別祈願法要
21日(水) 写経会(記念行持)

【11月】

7日(土) 坐禅会
9日(月) 梅花流詠讃歌稽古
11日(水) 写経会(記念行持)
18日(水) 本尊閉扉観音会
御開帳終了(〜16時)

参加費用：観音会・坐禅会・写経会(御開帳記念行持)は各1,000円、本尊御開帳特別祈願法要は会費2,000円(予定)、
梅花流詠讃歌稽古は無料です



幕府を開いた源氏ゆかりのお寺として、徳川幕府の手厚い庇護を受け、享保13年（1728年）に再建された観音堂（逗子市指定重要文化財）

鎌倉時代には、篤い観音信仰で知られる源頼朝公が特に熱心に参詣され、朱印地を寄進されたことが、寺伝として伝わっています。幕府の公式記録「吾妻鑑」にも大姫（文治三年）や三代將軍実朝公（承元三年）の参詣が記載されており、源將軍家ゆかりの観音様であったことが知られています。

源氏ゆかりの観音様

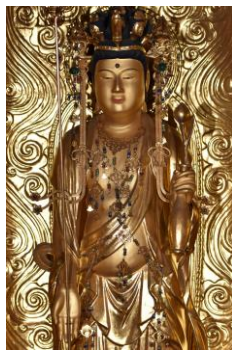
（九九〇）には花山法皇が自ら導師になられて百僧法要を営み、承安四年（一一七四）には後白河法皇が来山され「坂東三十三観音霊場」の二番札所に定めるなど、崇敬を集めたと記録されています。

岩殿寺は約千三百年前、奈良時代初期の養老五年（七二二）と六年（七二三）に、相次いでこの地を訪れた徳道上人（六五六〜七三五）と行基菩薩（六八八〜七四九）が、同じように岩肌に光り輝く十一面観音のお姿を見、この地を永く観音霊場とすべく建立されたと伝わっています。

県内屈指の古刹 岩殿寺



ご本尊のお手と繋がったお手綱に触れるお手綱参拝。観音様と特別なご縁を結んで頂けます。



本尊 十一面観音像
像高一尺八寸
江戸時代初期の作

鎌倉時代には、篤い観音信仰で知られる源頼朝公が特に熱心に参詣され、朱印地を寄進されたことが、寺伝として伝わっています。幕府の公式記録「吾妻鑑」にも大姫（文治三年）や三代將軍実朝公（承元三年）の参詣が記載されており、源將軍家ゆかりの観音様であったことが知られています。

源氏ゆかりの観音様

（九九〇）には花山法皇が自ら導師になられて百僧法要を営み、承安四年（一一七四）には後白河法皇が来山され「坂東三十三観音霊場」の二番札所に定めるなど、崇敬を集めたと記録されています。

岩殿寺は約千三百年前、奈良時代初期の養老五年（七二二）と六年（七二三）に、相次いでこの地を訪れた徳道上人（六五六〜七三五）と行基菩薩（六八八〜七四九）が、同じように岩肌に光り輝く十一面観音のお姿を見、この地を永く観音霊場とすべく建立されたと伝わっています。

江戸期に曹洞宗として再興

ご本尊 十一面観音像

室町期以降は、行基菩薩の彫られたご本尊や、伽藍が焼失するなど幾度か寺勢が衰えますが、江戸時代に入ると、徳川家康公の命により、三浦代官長谷川長綱を開基海宝院三世一機俊宗大和尚を開山とし、曹洞宗として再興します。幕府からは寺領の寄進、伽藍の再建、ご本尊の寄進等、手厚い庇護を受けました。

ご本尊のお手と繋がったお手綱に触れるお手綱参拝。観音様と特別なご縁を結んで頂けます。

特別祈願法要

十月十八日は御開帳中回向として、大勢の僧侶が般若経を転読する特別祈願法要を厳修します。この機会に是非ご参詣ください。

写経会（御開帳記念行事）

近年は全国の寺社で広まっているご朱印ですが、その起源は西国と坂東の三十三観音霊場で行われていた納経（写経奉納）の証としてのご朱印にあります。御開帳にちなみ、納経をさせていただく機会を設けました。お手本や筆などの道具類はご用意していますが、お手持ちの鉛筆やペンなどでも結構です。お気軽にご参加ください。

御開帳中の特別行持

岩殿寺で毎月行われている坐禅会、観音会などに加え、御開帳中は次の記念行事を執り行います。

令和八年午歳特別結縁御開帳

期間：自九月十八日（金）至十一月十八日（水）

時間：本尊拝観・納経受付 午前九時〜午後四時

※法要時間中を除きます

お手綱参拝 午前八時〜午後四時

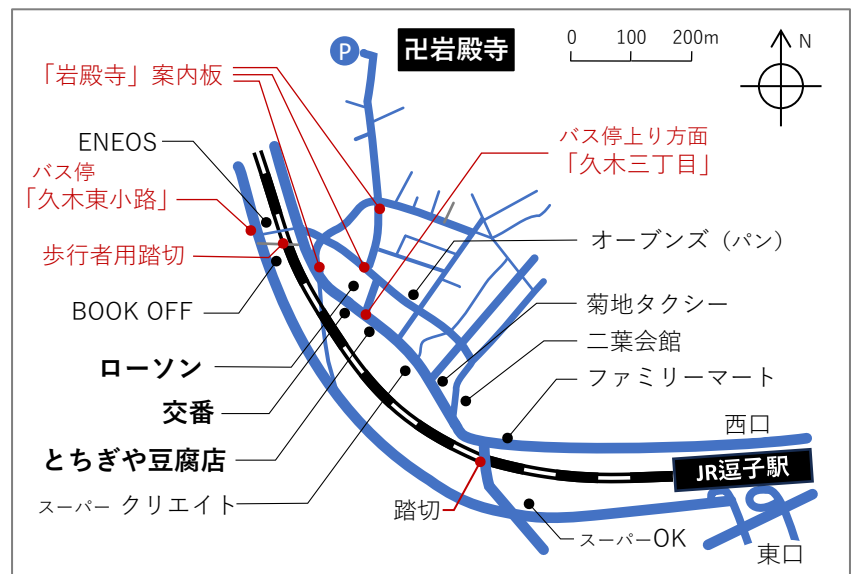
境内入場 午前六時〜午後五時

※期間中無休

※拝観無料（但、入山志納金百円）

岩殿寺へのアクセス

- 徒歩** JR逗子駅西口を出て道沿いに左に進み、「とちぎや豆腐店」前、「久木三丁目」バス停脇路地に入り、突当りを左折しすぐに右折、約450m直進し、突き当たり迄。駅西口から約1km、徒歩15分。
- バス** JR逗子駅発、京急逗子・葉山駅経由『逗22』バス（ハイランド循環）に乗り、「久木三丁目」バス停で下車、交番前の横断歩道を渡り右に進み、上り方面のバス停脇の路地を右折。上り方面バス停より、徒歩約500m、約6分。
- お車** とちぎや豆腐店前の「久木三丁目」バス停脇路地に入り、突き当たりを左折しすぐに右折。約450m直進し突き当たり迄。道幅が狭く通行注意。約10台分の無料駐車場有り。



【お問い合わせ・ご予約申し込み】

曹洞宗 海雲山 岩殿寺

〒249-0001 神奈川県逗子市久木5-7-11
TEL:046(871)2268 FAX:046(871)2397